



強く 賢く 美しく あったか城山中



令和5年度 第2号 5月19日 文責：校長 新村雅司

QRコード「学校HP」

〔城山中学校ホームページ（<http://www.ueis.ed.jp/school/shiroyama-j/>）では、カラーでご覧いただけます。〕

一人一人が主役となった体育祭

5月13日(土)体育祭を開催しました。雨の降り出しが気になる天気でしたが、生徒たちの元気とパワーにより予定していたプログラムをすべて実施することができました。今年度は、保護者、来賓の方々と地域の方々、多数が応援に来ていただいたことに感謝申し上げます。

今年度は修学旅行の関係で、例年よりも早い時期の開催となり、生徒たちは体育祭実行委員会を中心にスケジュールに追われながら準備を進めてきました。クラスでの種目練習、学級旗の制作、応援団による練習、係ごとの活動等、どれをとっても体育祭にかける意気込みを感じるものでした。

体育祭当日は、生徒一人一人が競技において、係活動において、仲間への応援において、主役となり活躍しました。また、目の前の競技に勝利するだけでなく、互いに認め合い、励まし合い、温かな人間関係を築くことが出来たことも勝利の証でした。そして、全員で「強く 賢く 美しく」を表現することが出来ました。

この体育祭での活躍を、今後の学校生活においても発揮していくことを期待しています。



今年のスローガン：主役は君だ 勝利の道へ走りぬけ！！（3年 Nさん 作）



修学旅行へ（3年生）

3年生は、5月22日(月)～24日(水)に京都・奈良方面への修学旅行を予定しています。

◇スローガン「聞いて 学んで 考えて ～Special memories in『奈良&京都』」（Aさん作）

◇私たちの目標・日本のよさを知ろう ・公共のマナーを守ろう ・自分で考えよう ・「じりつ」しよう
修学旅行の様子は、中学校HPに随時掲載していきますので、ご覧になってください。

全校保護者会・PTA総会等

4月28日(金)、授業参観・学校説明・学級懇談会・PTA各分会・PTA総会・PTA役員会を実施しました。保護者の方には、授業参観からPTA総会等まで参加していただき感謝いたします。

コロナ禍により中止していた各種のPTA活動も、今年度からは再開できるようになりました。これからも学校・家庭・社会が互いに協力し、生徒たちの健全育成とPTA会員相互の親睦を図り、PTAの目的を果たせるよう努力していきます。



城山あったか活動 11/18(土)実施

今年の「城山あったか活動（地域貢献活動）」は全市中学校一斉土曜授業日の11月18日(土)に実施します。昨年度から自治会単位での活動に戻しましたので、5月中に班編成と話し合い活動を実施して、活動内容をまとめていきます。今年度は、清掃活動以外に交流活動・紙芝居活動・防災活動なども取り入れていく予定です。



本活動の目的

- ・社会に参画していく力の育成
- ・地域を愛し誇りに思う心の育成
- ・SDGs 11（住み続けられるまちづくりを）の達成

今後は、6月21日(水)の自治会長会議で活動内容を提案し、自治会長様の要望を取り入れて詳細を詰めていきます。

具体的な活動内容は、10月中に各自治会回覧板にてお知らせいたします。

当日は、保護者の方にもご協力をお願いすることもありますので、よろしくお願いいたします。

11 住み続けられる
まちづくりを



食農体験（1年生）

今年も1年生は食農体験として、とうもろこし栽培を実施しています。毎年、小野口様の畑を借用して、さらに準備や技術指導をお願いしています。4月17日(月)に種蒔き、5月17日(水)は間引き作業を実施しました。地域の方々の協力により、生徒が有意義な体験学習を実施できることに感謝申し上げます。



校則の見直しについて

12ぶりに改訂された生徒指導の手引き「生徒指導提要：文部科学省」の中で、校則は生徒個人の能力や自主性を伸ばすものとなるものであり、「何のために設けた決まり」であるのか、生徒が「自分事」としてその意味を理解して自主的に校則を守っていくことが重要であると明記されています。

本校では、令和3年度から生徒会主体で校則の見直しを継続しています。具体的には、自転車ヘルメット、通学用靴、髪型に関する内容です。着用するヘルメットの種類や髪型については、今迄の規則からは緩和されました。校則も含めた学校生活に関する内容は、冊子「いきいき城山」を年度初めに生徒へ配付して、共通理解を図っています。

しかしながら、ヘルメットは安全確保が絶対条件なので、判断しやすいのですが、髪型に関しては判断が難しいのが現状です。髪型は自由であると捉えずに、中学校生活において相応しい髪型とは何なのかを各自が考え、現在の社会通念も考慮して、対話を通してより良い判断力を高めていくことが必要です。